



## 第9回常任理事会

**日時** 平成29年7月11日(火)18:15～19:23  
**場所** 北海道医師会館9階・理事会室  
**出席者** 長瀬会長、深澤・藤原両副会長、北野・三戸・目黒・藤井・水谷・山科・岡部・伊藤・生駒・後藤・笹本・櫻井・青木各常任理事、津田・藤瀬両監事  
 (事務局：安達局長ほか13名)

### 協議事項

#### 第1号 会務分担「医事紛争処理委員会」「定款等検討委員会」に関する件(三戸常任理事)

理事会に設置されている「医事紛争処理委員会」ならびに「定款等検討委員会」委員について、3副会長のほか関連部門を担当する常任理事が参画することと決定。

#### 第2号 北海道救急搬送受入実施基準協議会委員の推薦に関する件(三戸常任理事)

目黒常任理事を推薦することと決定。

#### 第3号 北海道病院事業推進委員会委員の推薦に関する件(三戸常任理事)

小熊副会長を推薦することと決定。

#### 第4号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(櫻井常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座23件、道医認定生涯教育講座29件の計52件を承認。

### 報告事項

#### 1. 第30回全国有床診療所連絡協議会総会 [7月1日(土)～2日(日)・大分県] について

(藤原副会長)

大分県医師会・近藤会長が大会長となり「今なぜ有床診療所が必要か～地域に根ざす有床診療所の役割～」をメインテーマに開催された。参加者は299名。1日目の講演Ⅰでは、厚生労働省老健局老人保健課・鈴木課長から「地域包括ケアの現状とH30年度介護報酬改定」と題して、医療保険における維持期リハビリテーションの介護保険への移行や、介護保険において自立支援に向けた介護事業者へのインセンティブについて講演があった。講演Ⅱでは、埼

玉県立大学・川越教授から「地域包括ケアと主治医に期待される役割－医療・介護連携／多職種協働を中心に－」と題して講演があり、主治医の医療マネジメントへの関与を強化する必要性について報告した。2日目の特別講演では、日医・横倉会長から「超高齢・人口減少社会における日本医師会の役割」と題して講演が行われた。その後、看護職員等の確保の問題、入院収入の低下、継承問題等、有床診療所の経営の厳しさについてシンポジウムが行われた。次回は、来年7月28日～29日、山口県において「有床診療所に明るい未来を！～国策に呼応する有床診療所の必要性～」をメインテーマに開催予定。

#### 2. 北海道看護協会との懇談会 [7月3日(月)] について(藤井常任理事)

当会の担当で開催した。看護協会から、日本看護協会の高齢者および認知症者支援のための看護職連携構築モデル事業の一環として、遠紋支部において地域の看護職が連携して、地域包括ケアシステムの在り方を多職種・住民と共に考え、地域の関係者とのネットワークを構築した取り組みについて話題提供の後、意見交換を行った。

#### 3. 北海道小児救急医療地域研修事業協議会 [7月5日(水)] について(目黒常任理事)

北海道小児科医会、北海道、当会の三者で本年度の研修会開催計画について協議を行い、全道8地域の開催日程ならびに研修内容を決定した。なお、各会場とも講師2名による研修(2時間30分)とするが、札幌会場のみ、昨年度同様、3時間の研修を実施する予定とした。

#### 4. 第19回日本医療マネジメント学会学術総会 [7月7日(金)～8日(土)・仙台市] について

(青木常任理事)

仙台医療センター・田所名誉院長が学会長となり「地域を守るあたたかな医療～患者・職員の満足をめざして～」をメインテーマに基調講演、会長講演ほか9講演、さらに15シンポジウム等が行われ、一般演題891題(口演632題、ポスター255題、クリティカルパス4題)が発表された。参加者は約3,800名。次回は来年6月8日(金)～9日(土)、KKR札幌医療センター・磯部病院長が学会長となり、札幌市において開催予定。

#### 5. 外部各委員会報告

##### (1) 第1回道南ドクターヘリ運航調整委員会 [6月15日(木)] について(目黒常任理事)

昨年度の運航実績等について報告があった。その後、昨年度の運航経費に関する決算について協議し了承された。

##### (2) 第51回北海道ドクターズゴルフ協議会役員会 [7月2日(日)・旭川市] について

(伊藤常任理事)

旭川市医師会の担当により大雪山カントリークラブにて開催し、参加者は136名。役員会で

は、役員の一部変更、昨年の決算報告・監査報告を承認し、続いて、第52回大会(平成30年度)は、室蘭市医師会の担当で7月1日(日)室蘭ゴルフ倶楽部で開催することを確認し、第53回大会(平成31年度)は、小樽市医師会の担当で小樽カントリークラブで開催することを承認した。

### (3) 第1回北海道アルコール健康障害対策推進会議 [7月7日(金)] について (岡部常任理事)

本会議計画部会の検討状況の報告があり「北海道アルコール健康障害対策推進計画(仮称)」素案(案)ならびに、依存症専門医療機関および依存症治療拠点機関の選定についてたたき台が示され議論した。計画の素案は、1ヵ月間のパブリックコメントを実施した後、計画部会に諮ることとなった。

### 6. 中央情勢報告 (笹本常任理事)

#### 「平成29年5月 経済産業省 次官・若手プロジェクト」について

5月18日(木)に経済産業省で開催された第20回産業構造審議会総会において議題に取り上げられた「中長期的な日本社会のあり方について(次官・若手プロジェクトによる提言)」について、資料「不安な個人、立ちすくむ国家～モデル無き時代をどう前向きに生き抜くか～」をもとに説明を行った。

### 7. 外部報告

#### (1) 地域医療構想調整会議等について

(笹本常任理事)

前回(第8回)常任理事会で経過報告を行った、地域医療構想調整会議の設置要綱・運営要領の一部改正の件については、全て改正前の内容に戻されることとなった旨、報告を行った。

#### (2) メディカルウイングについて(目黒常任理事)

本年度国庫補助事業の「へき地保健医療対策実施要綱」にメディカルジェットが追加され、北海道を実施主体として患者搬送固定翼機運航事業が行われることとなった。当会が参画している「北海道航空医療ネットワーク研究会」が、北海道から本事業を受託し、札幌医科大学附属病院が統括医療機関、手稲溪仁会病院が運航管理病院、中日本航空株式会社が搬送担当運航会社となり、7月30日からメディカルウイングの本格運航を開始する。本事業については、救命救急センターや地域センター病院等の関係医療機関に対して、実施主体である北海道が説明に回る予定であるほか、当会会員には、北海道医報8月1日号附録で周知することとしている。

### 8. その他

#### (1) 北海道プライマリ・ケア研究会の解散について (長瀬会長)

昭和59年に設立され、小職が会長を務めた北海道プライマリ・ケア研究会が本年6月末の会報最終号の発刊をもって活動を終えて解散する

ことになり、今後の道内におけるプライマリ・ケアに関する活動は、日本プライマリ・ケア連合学会北海道ブロック支部が中心となることを報告した。

## 第10回常任理事会

**日時** 平成29年7月25日(火) 18:00～19:02  
**場所** 北海道医師会館9階・理事会室  
**出席者** 長瀬会長、深澤副会長、北野・三戸・目黒・藤井・水谷・山科・岡部・伊藤・生駒・後藤・笹本・櫻井・青木各常任理事、藤瀬・篠島両監事  
(事務局：安達局長ほか11名)

### 協議事項

#### 第1号 母体保護法指定医師の指定に関する件

(深澤副会長)

新規申請者1名を指定医師とすることと決定。また、施設変更1件の申請を承認。

#### 第2号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件 (櫻井常任理事)

申請のあった日生涯教育講座31件、道医認定生涯教育講座34件の計65件を承認。

#### 第3号 その他

(1) 8月行事予定に関する件 (事務局)

### 報告事項

#### 1. 第67回日本病院学会 [7月20日(木)～21日(金)・神戸市] について (伊藤常任理事)

社会医療法人愛仁会・内藤理事長が学会長となり「医療人育成ルネサンス」をメインテーマに2日間にわたり開催された。1日目の午前の部では、学会長講演、日本病院会会長講演、日本医師会会長講演が行われた。引き続き、午後の部では「電子化時代の診療情報管理－病院医療の進歩をめざして－」「地域包括ケアシステムにおける中小病院のあり方」と題したシンポジウムが行われた。参加者は約2,000名であった。今回は、平成30年6月28日(木)～29日(金)、石川県において、石川県立中央病院院長・山田学会長のもと「医療制度ルネサンス－未来を見据え、今を創新する－」をメインテーマに開催予定。

#### 2. 第13回男女共同参画フォーラム [7月22日(土)・名古屋市] について (藤井常任理事)

愛知県医師会の担当で「今後10年の医療界で男女共同参画は何をめざすか」をメインテーマに開催された。基調講演は、産業医科大学公衆衛生学・松田教授による「医師の働き方を考える」が行われ、フランスなどの先進事例を参考に超高齢社会では患者の医療ニーズが複合化し、他職種によるチーム医療の実践が要求され、チームでの対応はタスクシェアリングそのものであり、こうした働き方が進むことで医師の労働負担が軽減されるとの話があった。そ

の後、愛知県医師会イクボス大賞の表彰式が行われ、引き続き行われたシンポジウム「これからの医療制度変革とそれに伴う医師の働き方の変化は」では、4名のシンポジストがそれぞれの立場から講演を行った後「第13回男女共同参画フォーラム宣言」が採択された。参加者は329名であった。次回は、平成30年5月26日(土)、高知県医師会が担当で開催予定。

### 3. 日医理事会報告(長瀬会長)

中医協、第4回技能実習制度への介護職種への追加に向けた準備会、第3回高齢者医薬品適正使用検討会の件等の報告と、第2回都道府県医師会長協議会開催、日本医師会ORCA管理機構株式会社定時株主総会における議決権行使の件等につき協議した。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。なお、事前の理事打合せにおいて、介護現場にも日本医師会主導による倫理教育を、第6回「日本医師会 赤ひげ大賞」候補者推薦依頼について、支払基金業務効率化・高度化計画について、無痛分娩に係る新聞報道とリピーター対策について、遠隔診療についての意見交換を行った。

### 4. 外部各委員会報告

#### (1) 北海道障がい者施策推進審議会第3回医療的ケア児支援部会〔7月18日(火)〕について

(三戸常任理事)

平成29年度在宅重症心身障がい児(者)に関する調査ならびに検討スケジュールについて報告があった。その後、第2期北海道障がい者基本計画(改訂版)、第5期北海道障がい福祉計画の策定ならびに北海道の医療的ケア児支援施策について協議した。各計画については、北海道が9月中旬にタウンミーティングを行い素案を作成した後、本部会で協議する予定。

#### (2) 第1回地域応援看護師確保対策検討会議〔7月18日(火)〕について(深澤副会長)

昨年度事業報告では、応募者26名、登録者10名、就業成立は応援者6名、就職者1名との報告があった。続いて、今年度の実施状況では、地域応援ナースの発掘を継続し、応援エリア病院等施設に対する意向調査結果を基に、受入れ施設に応援ナースと同行訪問し、就業成立に向けて調整を行うこととした。

#### (3) 道東ドクターヘリ運航調整委員会〔7月19日(水)〕について(目黒常任理事)

昨年度の運航実績ならびに役員会・部会等の

開催状況について報告があった。その後、役員改選が行われ、釧路市医師会・久島会長が委員長となり、釧路孝仁会記念病院・齋藤理事長、市立釧路総合病院・高平院長、釧路市消防本部・工藤消防長の3名を副委員長に指名した。

#### (4) 第1回北海道学校保健審議会〔7月21日(金)〕について(長瀬会長)

文部科学大臣表彰の被候補者について協議を行い、学校保健関係6名(学校医2名、学校歯科医3名、学校薬剤師1名)と学校安全関係1校、学校給食関係1名の推薦を決定した。その後、北海道学校保健審議会と北海道大学大学院保健科学研究院が行った、児童生徒の心の健康に関する調査結果について報告があった。

### 5. 各部報告

#### (1) 「北海道がんサミット2017」〔8月6日(日) 10:00～15:20・WEST19〕について

(伊藤常任理事)

小職より、開催案内を行った。

### 6. その他

#### (1) 第2回都道府県医師会長協議会〔9月19日(火)〕の提出議題について(三戸常任理事)

都道府県医師会長協議会への議題提出および期限について確認した。

#### (2) 世界医師会(WMA)シカゴ総会〔10月11日(水)～14日(土)・シカゴ〕について

(三戸常任理事)

シカゴで開催される今年度の世界医師会総会につき説明し、参加を募った。

### 道総医協関連事項(深澤副会長)

#### 1. 第54回総会〔7月11日(火)〕について

(深澤副会長)

委員の委嘱状況の報告、3専門委員会(救急医療・地域医療・地域保健)について昨年度の協議実施状況の報告があった。その後、各専門委員会委員の指名および今年度の協議予定事項について確認した。

#### 2. 第1回救急医療専門委員会〔7月11日(火)〕について(目黒常任理事)

本委員会の委員長に小職、副委員長に札幌医大・成松教授を選出し、小委員会等の委員を選出した。その後、今年度の協議予定事項およびスケジュールについて事務局から説明があり、今年7月30日から運航を開始する患者搬送固定翼機の概要や、消防防災ヘリコプターの運航状況について報告があった。